

秋田市総合交通戦略推進協議会

第1回協議会 参考資料

1. VICS データに見る秋田市の渋滞状況
2. モビリティ・マネジメント手法の活用例

平成21年7月27日

1. VICSデータに見る秋田市の渋滞状況

(1) 秋期と冬期の渋滞状況

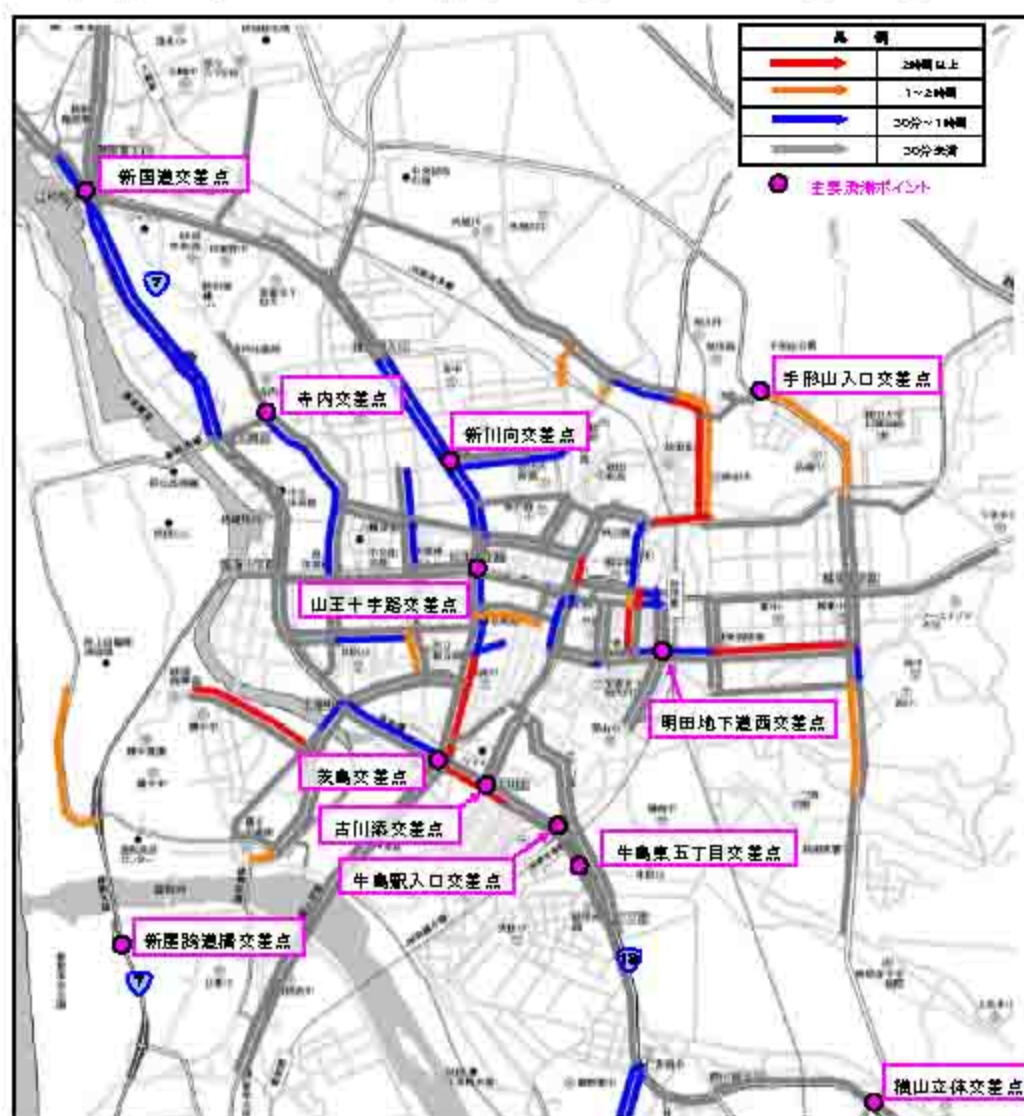
＜秋(10月)平日の日平均＞

- ・2時間以上の渋滞発生箇所は14区間あり、渋滞時間では、合計67時間の渋滞が発生
- ・30分以上の渋滞発生箇所は68区間あり、渋滞時間では114時間の渋滞が発生

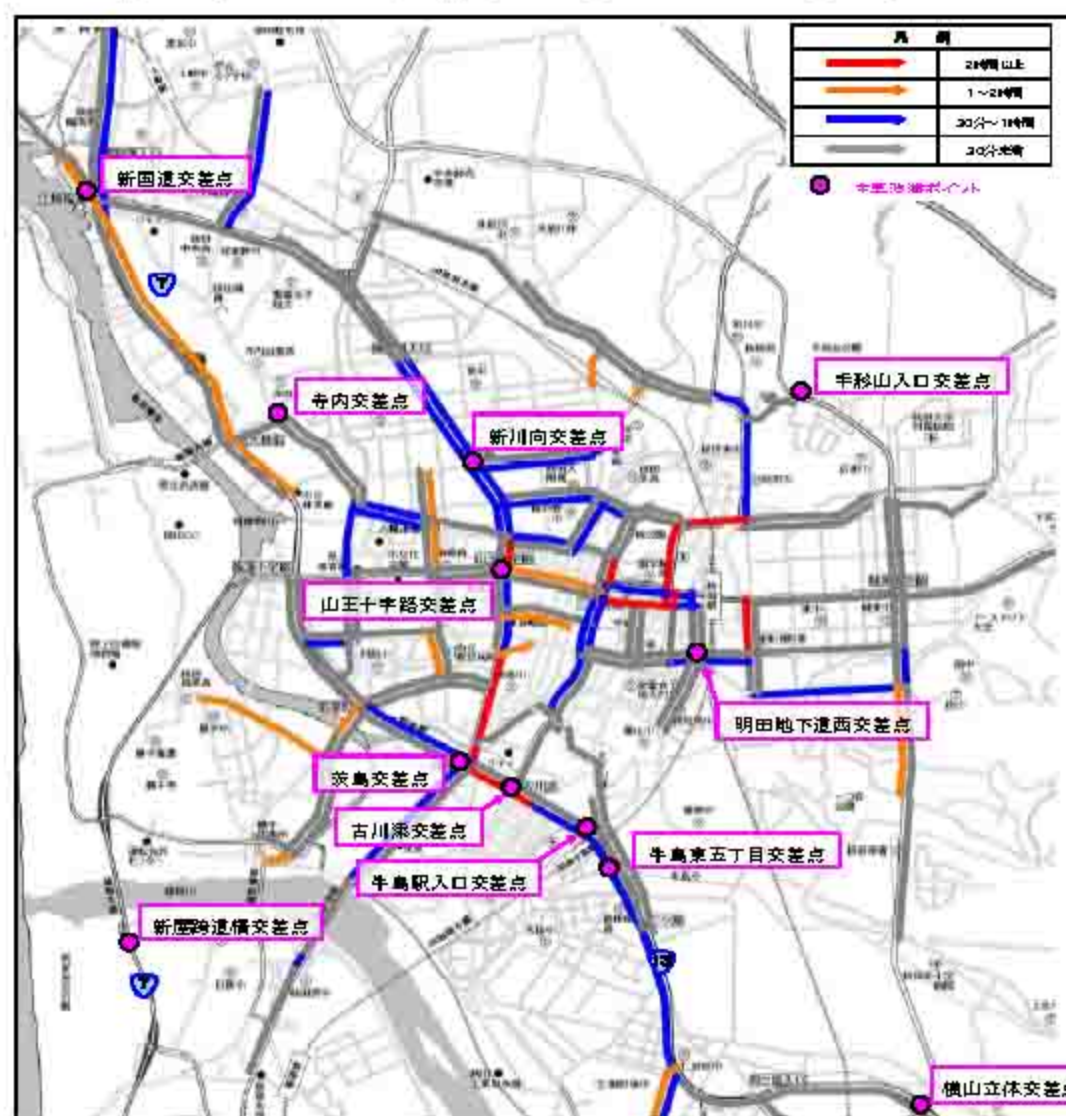
＜冬(2月)平日の日平均＞

- ・2時間以上の渋滞発生箇所は16区間あり、渋滞時間では合計73時間の渋滞が発生
- ・30分以上の渋滞発生箇所は96区間あり、渋滞時間は141時間であり、秋期より約30時間多く渋滞している

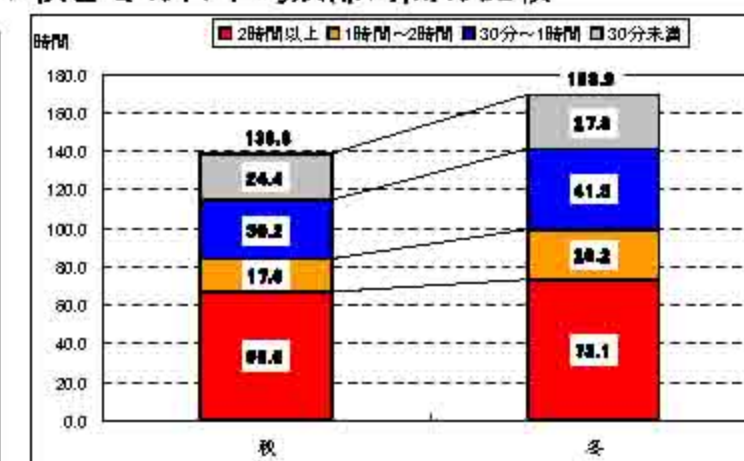
▼秋期の区間別日平均渋滞発生時間（平成19年10月）



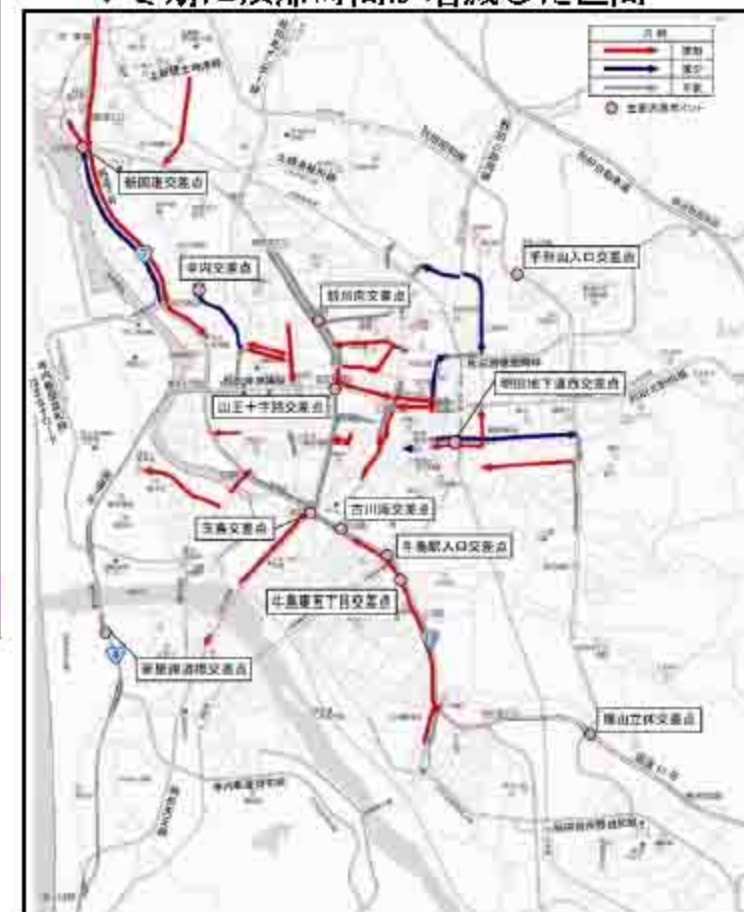
▼冬期の区間別日平均渋滞発生時間（平成20年2月）



▼秋と冬の平日日平均渋滞時間の比較



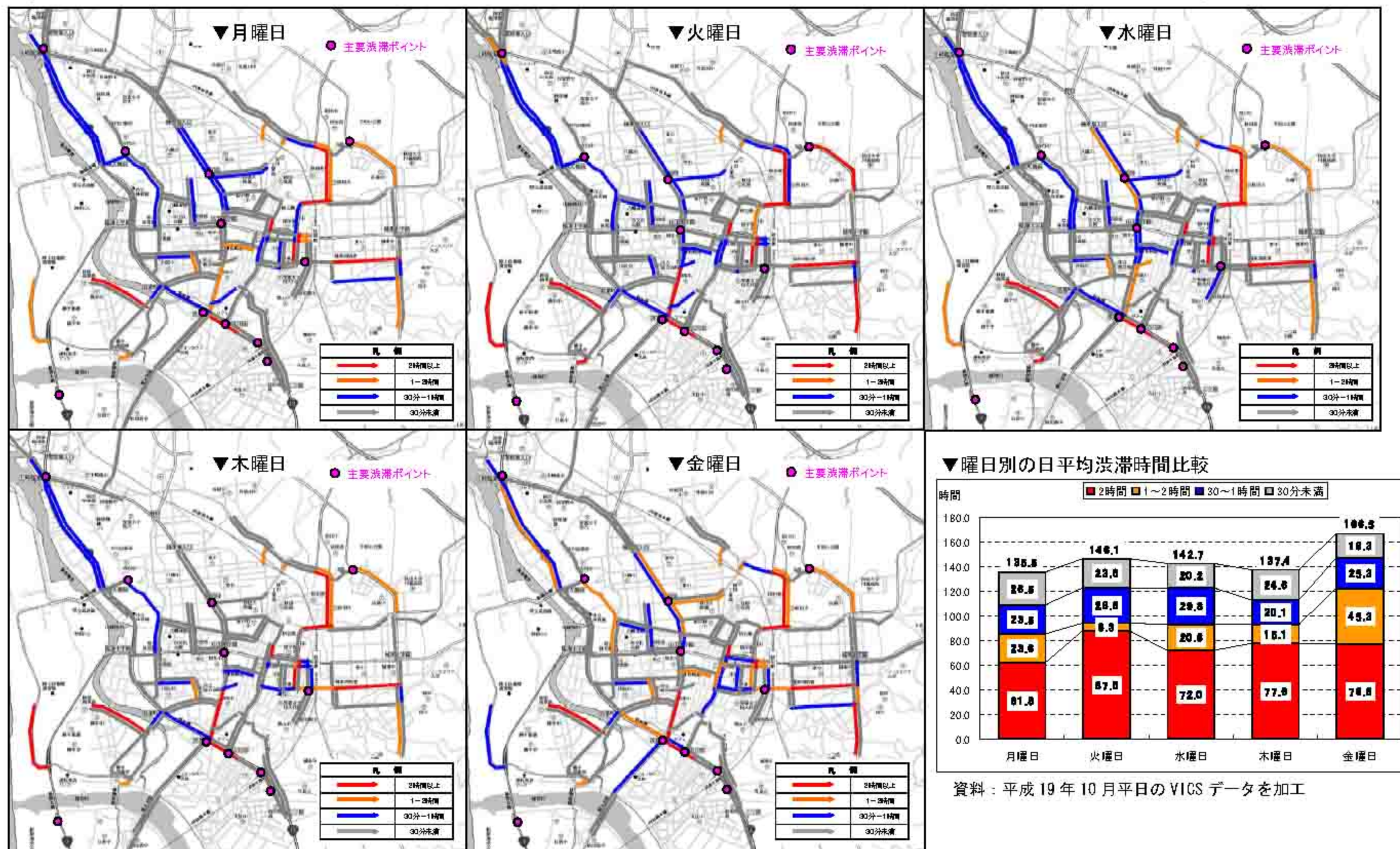
▼冬期に渋滞時間が増減した区間



1. VICSデータに見る秋田市の渋滞状況

(2) 曜日特性 (平成19年10月平日)

・曜日別の平均を見ると、金曜日が多少増加している。他の曜日は、大きな変動は見られない

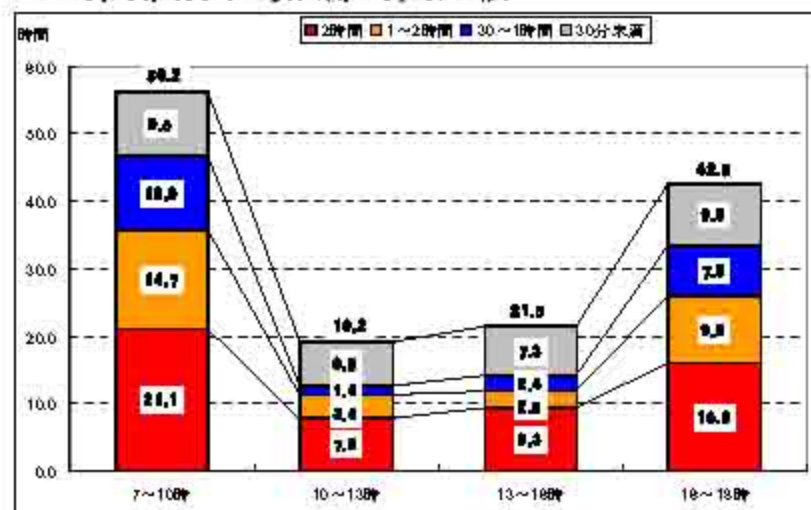


1. VICSデータに見る秋田市の渋滞状況

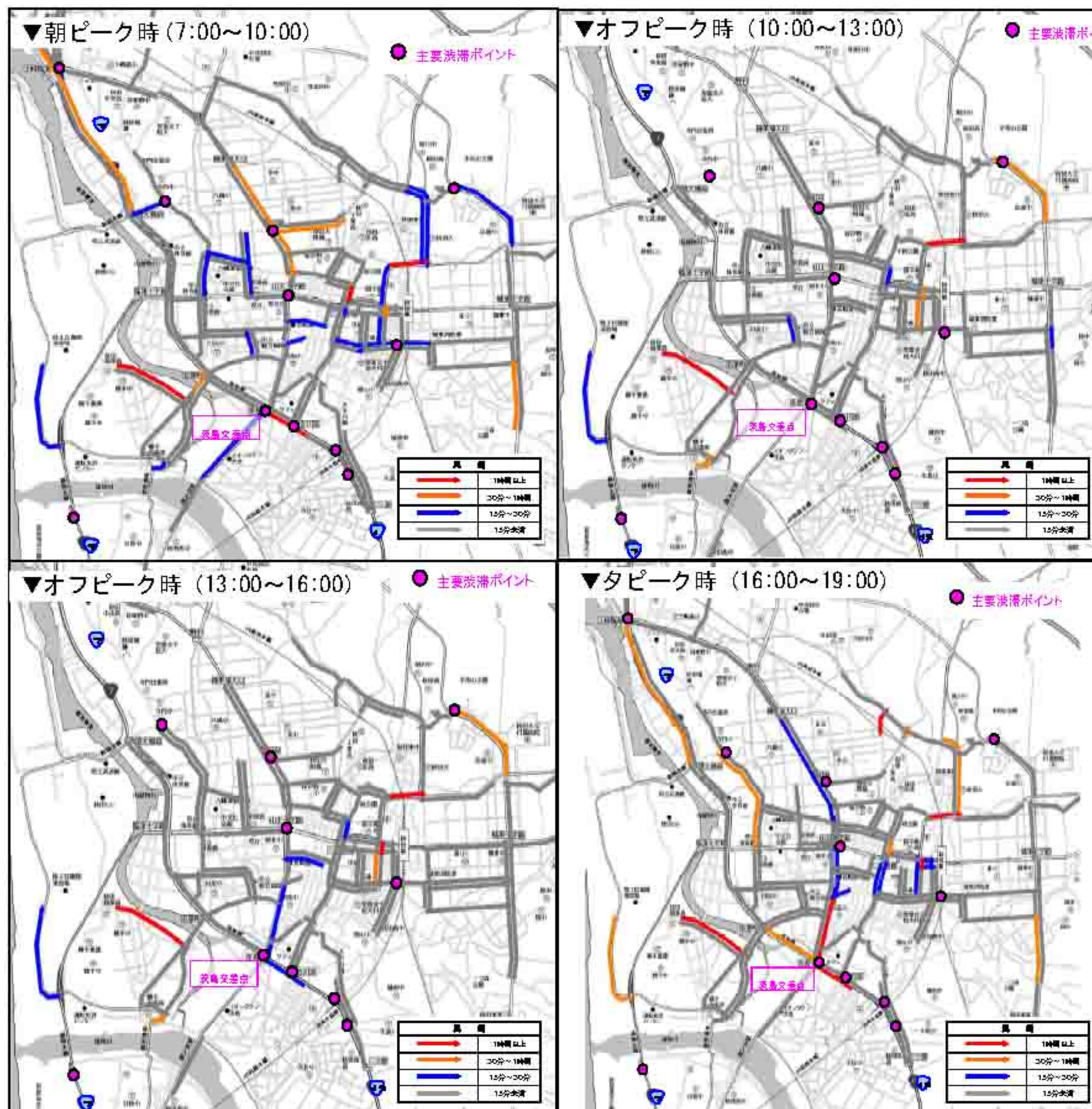
(3) 時間帯別特性 (平成19年10月平日)

- ・ 国道13号茨島交差点では、朝ピーク・夕ピーク時ともに1時間以上の渋滞が発生している
- ・ 朝ピーク時の渋滞時間は合計56時間である
- ・ 一方、夕ピーク時の渋滞時間は合計42時間である

▼時間帯別平均渋滞時間比較



資料：平成19年10月平日のVICSデータを加工

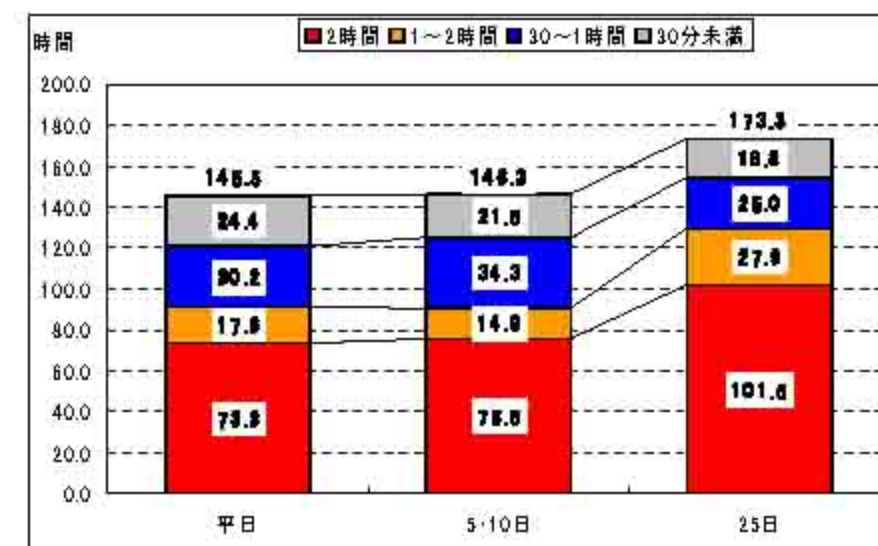


1. VICSデータに見る秋田市の渋滞状況

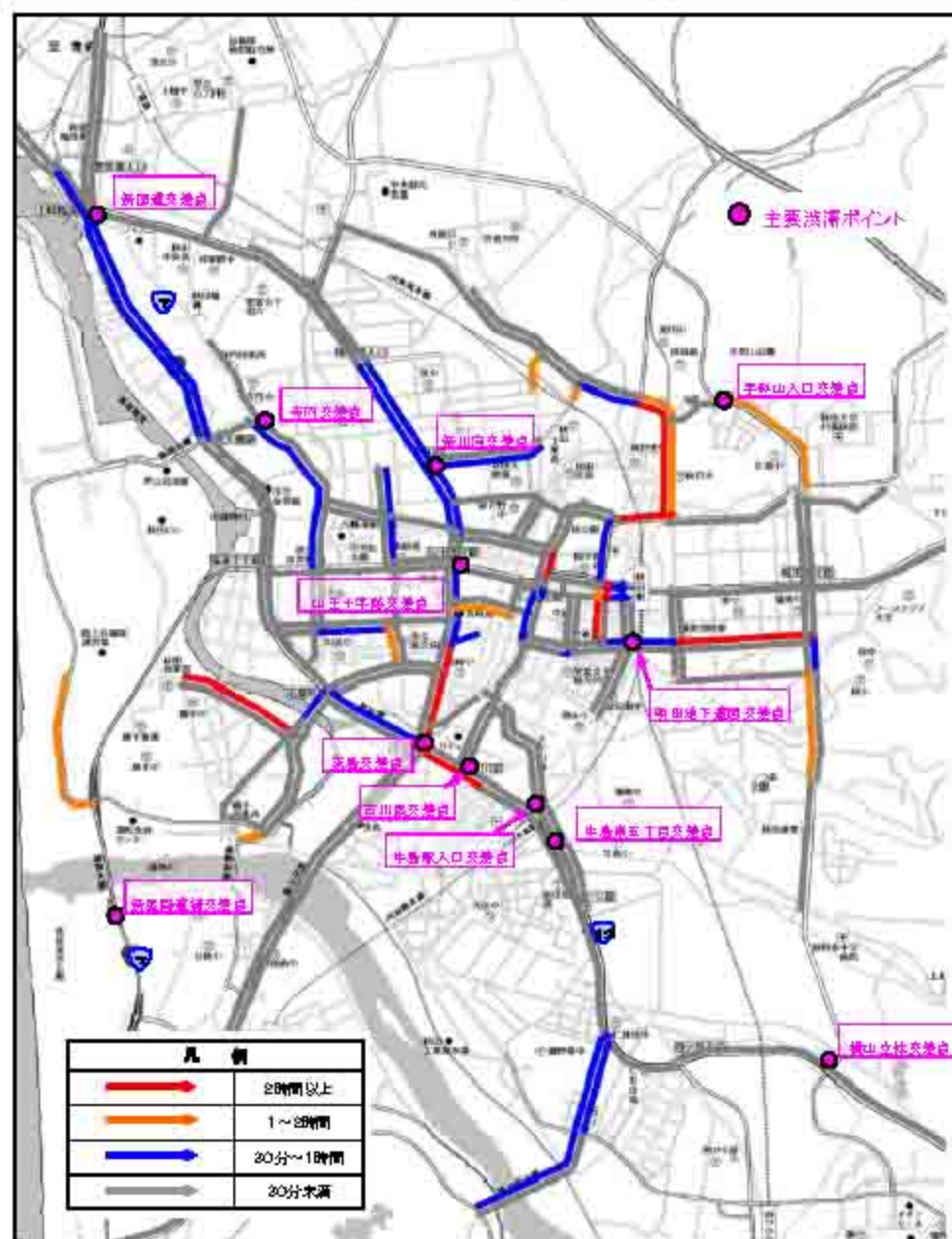
(4) 5・10日特性（平成19年10月平均）

- ・5・10日の渋滞時間は通常の平日とあまり差がない
- ・一方、月末の25日は渋滞時間が増えている

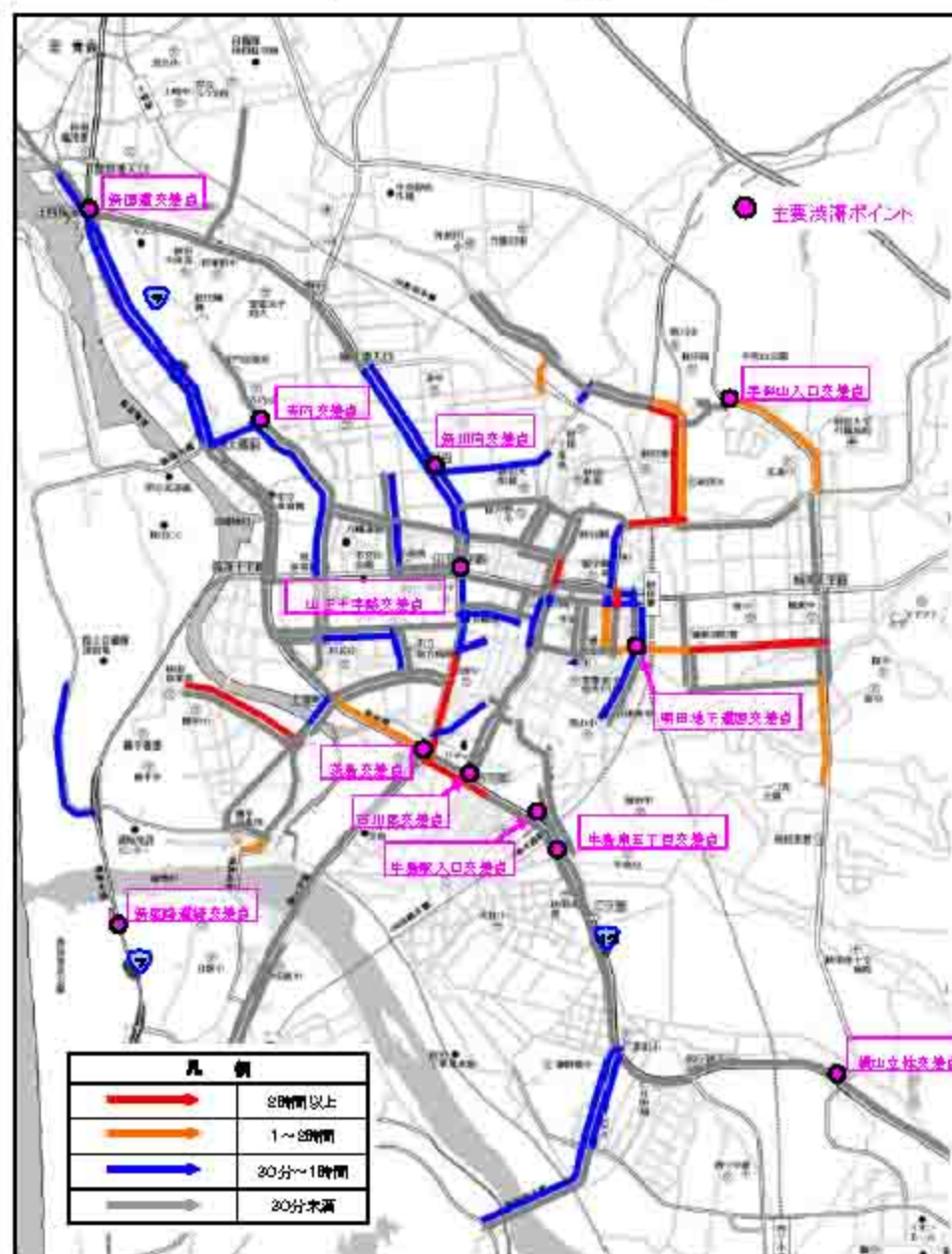
平日と5・10日、25日の平均渋滞時間比較 ▶



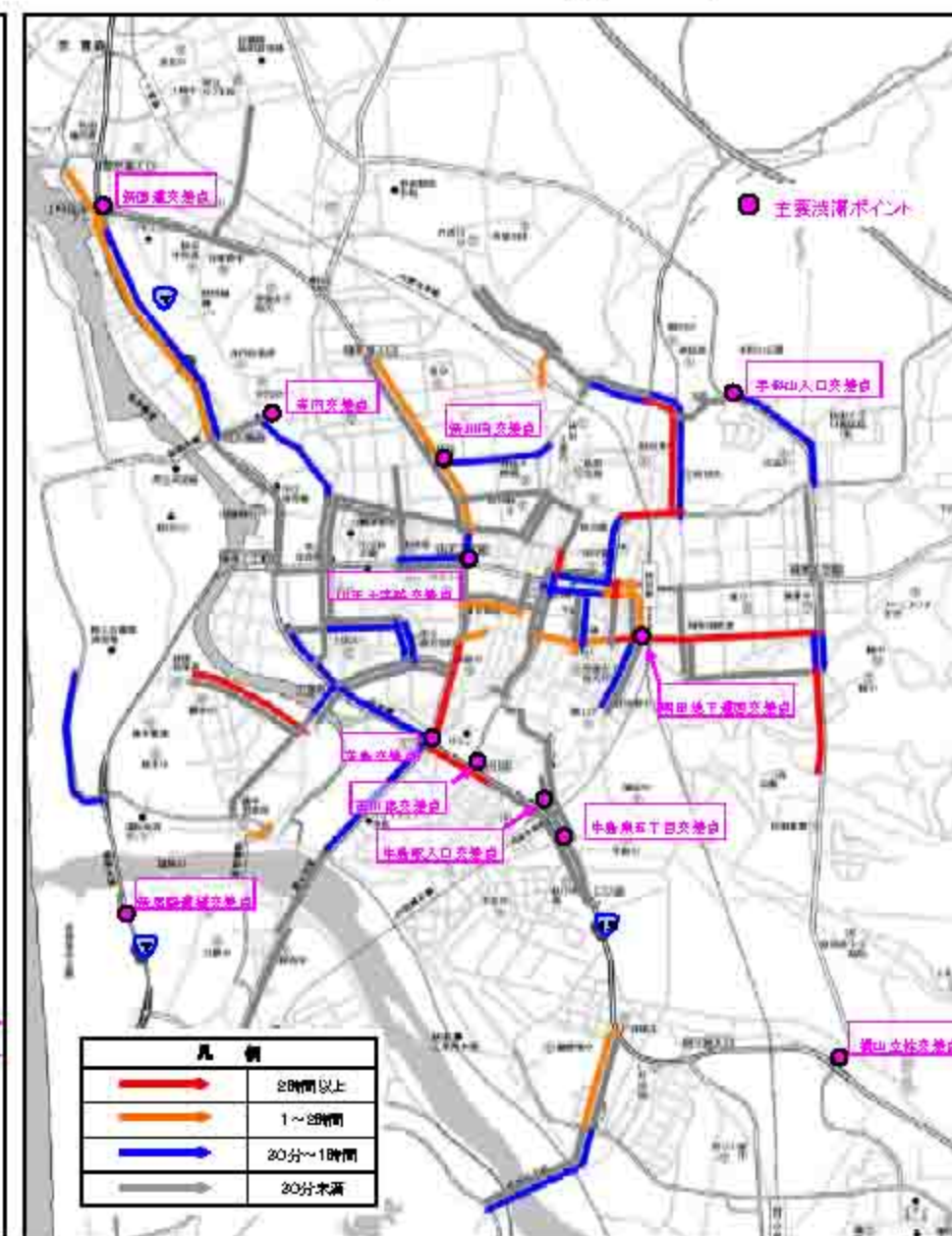
▼10月平日の渋滞発生区間



▼10月5・10日の渋滞発生区間



▼10月25日の渋滞発生区間



資料：平成19年10月のVICSデータを加工

2. モビリティ・マネジメント手法の活用例

通勤アンケート調査時に同封したノーマイカーに対する動機付けチラシ
(H20年12月～H21年1月に実施)

豆知識

クルマ通勤を少し控えると…

クルマ通勤を控えてみると

さまざまなメリットがあります。

メリット1：渋滞の減少と道路混雑の緩和

- ・渋滞に巻き込まれずに通勤が出来ます。
- ・たくさんの人が参加すれば、通勤時間の道路混雑が緩和されます。



メリット2：地球温暖化防止への寄与

- ・クルマ通勤を減らせば地球温暖化防止に寄与します。

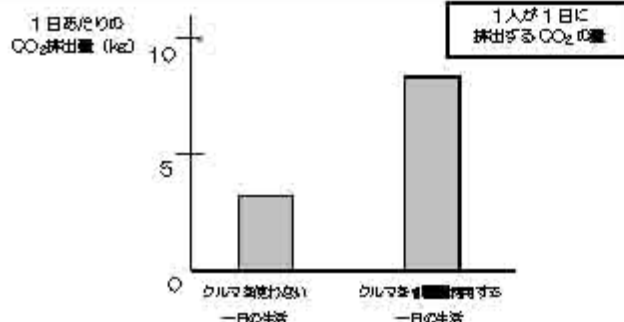


メリット3：健康の増進

- ・公共交通や自転車、徒歩での通勤は、健康増進にも役立ちます。ちなみに、電車やバスでの通勤は、クルマ通勤のおよそ4倍[※]のカロリーを消費します。
- ・また交通事故のリスクが減り、安全に通勤できます。

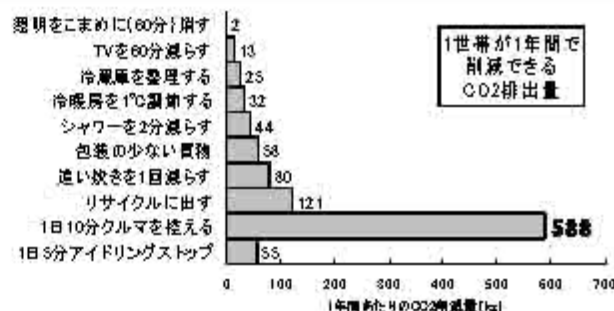


※) 出典: 厚生労働省・健康づくりのための運動指針2006 (<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/undou01/pdf/data.pdf>)



◇ 例えば通勤で1時間(片道30分)クルマを使えば、一人の排出CO₂は2倍以上にもなってしまいます。

[出典: 環境省]



◇ 例えば、1日10分だけクルマを控えれば、テレビを1日1時間控えたときの45倍もCO₂を削減できます。

[出典: 環境省のデータを基に東京工業大学が算出]